

地域と企業の発展のために、私ども中小企業診断士をご活用ください。



岡山県中小企業診断士会会報

2022 年 7 月 15 日発行（第 21 号）

一般社団法人 岡山県中小企業診断士会

〒700-0985 岡山市北区厚生町 3-1-15 岡山商工会議所ビル 5 階

TEL (086)225-4552 FAX (086)225-4554 URL <https://osmeca.org/>



令和の大改修中の岡山城。

天守閣を覆っていたシートが徐々に取り外され、漆黒の天守閣と金のしゃちほこが見え始めました。

目次

会長あいさつ……1

T o p i c s……2

新入会員紹介……5

研究会活動……8

BOOK REVIEW……11

事務局だより……12



キャリアアップ、交流の場、 一層の参画を



会長あいさつ

会長 松本 直也



令和 4 年度定時総会において理事・執行役員の新執行部が選任されました。より一層会員の資質向上・交流機会の拡大、中小企業診断士の知名度向上等に努めてまいります。

◆約 200 人の大所帯◆

平成 24 年に本会が一般社団法人として法人化した時の正会員数が 129 人であったのに対し、今年 6 月末現在では 160 名に拡大しています。賛助会員を含めると約 200 名の中小企業診断士にご加入いただいています。

会員の増加とともに日々の中小企業支援の着実な成果創出の中で、行政や中小企業支援機関等の皆様から、本会へのご相談やご依頼が多く寄せられています。中小企業診断士、そして本会は、地域中小企業を支える専門家として頼っていただける存在となっています。

新型コロナウイルスの影響は本会の運営にも大きく影響を及ぼしています。感染症対策を十分に踏まえながらも、令和 4 年度はできる限りの活動を積極的に進めたいと考えています。

◆レベルアップやネットワークづくり◆

本会は、新人会員からベテラン会員まで、中小企業診断士としてレベルアップできる会員組織です。主に学び・キャリアアップの場、内外の交流・ネットワークづくりの場の充実を図っています。新人会員向けの「診断士キャリアアップ研究会」、企業内診断士会員向けの「企業内診断士事業委員会」、幅広い学びを得られる「診断士フォーラム・新春フォーラム」「研修事業」、中小企業診断士の知名度向上を図る「診断士の日事業」、公益目的事業として地域経済活性化に貢献する「無料相談事業」等、そして定時総会・理論政策更新研修・新春フォーラム後等の懇親会といった幅広い活動を行っています。

レベルアップできる会員組織として本会が一層発展していくためには、多くの会員の皆様の本会活動への参画が不可欠です。多くの会員が知識や経験を持ち寄ることで自ずと学び・キャリアアップの場、交流・ネットワークづくりの場が一層魅力的になります。

今後とも実りある会として発展したいと考えています。会員の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

Topics

通常総会開催

今年度定時総会を6月25日(土)、サン・ピーチ OKAYAMA(岡山市北区)にて開催しました。出席者は会員総数160名のうち60名。書面表決及び委任状は63名で会員総数の3分の1以上となり総会が成立しました。審議の結果以下5件の議案すべてが承認されました。

【議決された議案】

第1号議案 令和3年度事業報告

第2号議案 令和3年度収支決算

第3号議案 令和4年度役員

第4号議案 令和4年度事業計画

第5号議案 令和4年度収支予算

理事改選は以下のとおりです。

新任 乙倉 淳、退任 目黒 秀二



あわせて、令和3年度の会員表彰が行われました。

【永年表彰】

20年以上の本会の会員

黒田 俊彦(写真下)、谷 行治、藤原 敬明



閉会後には久しぶりの懇親会を開催しました(写真下)。



診断士フォーラム

◇◆コロナ直撃 ネバーギブアップ! ◇◆

新春フォーラム

本年の新春フォーラムは木下サーカス(株)の



木下唯志社長(写真左)を講師に迎え、「コロナ禍と向き合う企業の在り方」と題して講演をしていただきました。感染拡大により何

度も公演中止を強いられるなか、いかに団員のモチベーションを維持し、パフォーマンスを高めていったか……。創業120年を迎える老舗企業は戦時中でもサーカスを開催するなど、様々な困難を乗り越えてきました。「ネバーギブアップ、万策尽きたと思うな。愚直に頑張れば新しい風が必ず



吹く」。絶体絶命に追い込まれても諦めてはいけない。社長の覚悟の話でした。

(1/16 サン・ピーチ OKAYAMA)

◆◆3名のリレーセミナー◆◆

3月フォーラム

3月フォーラムは当会入会して間もない3名(石黒貴裕、三宅裕子、柚木佑佳)によるミニセミナーを開催しました。

石黒さん(写真右)は「経験価値による地元食材のマーケティング」をテーマに「脱コモディティ化」を図るカギは機能や品質よりも感情・情緒面にアプローチすることにあるとの内容を話されました。



三宅さん(写真左)は「実店舗は『売場』から『快場』にチェンジしよう」と題し、店舗のビジュアル化を図ることで売場の魅力を伝えるマーケティング方法について

解説されました。

柚木さん(写真右)は「人生の質を上げる自己対話の方法」と題し、自分の状態を整えていくことでパフォーマンスを上げる具体的な方法を自らの体験談を交えて熱弁されました。



3例とも自身の得意分野を簡潔にまとめ、充実した内容でした。出席者から多くの質問も飛び出し、関心の高さが現れていました。

(3/3 ゆうあいセンター)



◆◆リスク後の資金調達◆◆

5月フォーラム

5月フォーラムは(株)喜創産業の代表取締役会長の山本将司様による「リスク後の資金調達手法～どのように判断し、どのように育てるか～」と題した講演です。初めてのオンライン・会場のハイブリッドで開催し、オンライン16名、会場17名が参加しました。

資金繰りに困っている会社について、立ち直りが可能か否かの見分け方、金融機関とどのような交渉をしたかなど、生々しい交渉内容を詳細に紹介していただきました。

リスク後の資金調達については我々診断士が経営改善、事業再生に携わる際に、事業継続が可能か否かの判断の大きな方向性の指針になるはずです。

診断士活動にとって非常に参考となる内容の講義で、出席者からも具体的な質問がありました。また、講義終了後には会場に集まった会員による情報交換会を行いました。

(5/15 ゆうあいセンター)



◆◇事業承継、待ったなし！◇◆

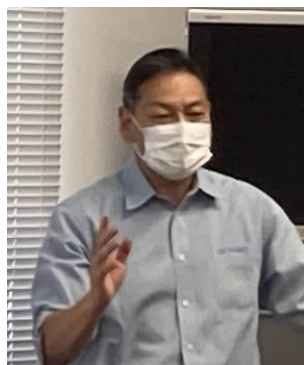
7月フォーラム

7月フォーラムは岡山県事業承継・引継ぎ支援センターの金原 光広、松村 教司（会員）両コーディネーターによる「事業承継」についてのセミナーでした。

金原さん（写真右）は「事業承継の相談は向こうから来ない。なので『プッシュ型』の支援が必要。診断士の方々と連携して掘起こしを図りたい。」と呼びかけました。また、「事業承継計画書」の策定方法についての詳細な解説がありました。



続いて松村さん（写真下）からは中小機構のIT



プラットフォームの活用について説明があり、「経営者の若返りはIT化のチャンス。ぜひ、勧めて欲しい。」と力を込めて話されました。

長く事業承継の現場をよく知る二人の話はリアリティに満ち、説得力のある内容でした。経営者の高齢化、後継者不足は我が国経済の喫緊の課題です。当会としても事業承継・引継ぎ支援センターと連携した取組を図ります。

(7/10 ゆうあいセンター)



【診断士フォーラム今後の予定】

●9月フォーラム●

日時:令和4年9月11日(日) 10時~12時

場所:ゆうあいセンター

●1月新春フォーラム●

日時:令和5年1月15日(日) 15時~17時

フォーラム後 新年会開催予定

場所:サン・ピーチ OKAYAMA

●3月フォーラム●

日時:令和5年3月12日(日) 10時~12時

場所:ゆうあいセンター

※日時場所等変更になる場合があります。

会員向けミニセミナー

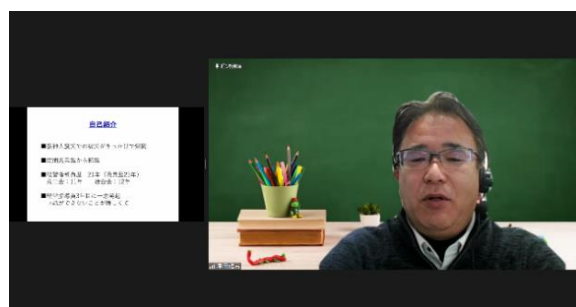
◆◇「中小企業支援策」◇◆

研修委員会

昨年に引き続き、2度目の会員向け「Zoom ミニセミナー」を2月5日（土）に開催しました。今回は岡山県商工会連合会の津田 健治課長（会員写真下）より、補助金をはじめとした様々な中小企業施策を使った支援策について解説してもらいました。参加者は24名でした。

意外と知られていない施策活用ポイントについての解説に加え、支援スタンスのスタンダードである伴走支援について、国レベルで検討中の最新情報も聞くことができました。

研修委員会では本年度も会員向けのセミナーを予定していますので、ぜひ参加してください。また、ご希望のセミナー等がありましたら、当委員会（佐藤、津田、草野）まで連絡をお願いします。



新入会員紹介

中 村 昌 幸 なかむら まさゆき

◆◆ 資金調達のアドバイス ◆◆

都市銀行（当時東海銀行）に約10年勤めた後、より中小企業の身近な相談相手になりたいとの思いから大阪の会計事務所に転職し、約17年が経ちます。銀行では主に法人融資を担当していたため、資金調達などのアドバイスを得意としています。



会計事務所では、部門別会計導入、経営計画作成支援、経営会議参画、セミナー講師など、積極的にコンサル業務にも取り組みました。また、在留中国人の法人設立支援などを行う中国事業室を兼務しているため、中国市場進出などを検討している会社には私の人脈がお役に立てると思います。

永く大阪で会社勤めをしていましたが、家庭の事情で実家の倉敷に戻ってからも、最初3年くらいは毎日新幹線で通勤を続けたという根性の持ち主でもあります（現在はリモートワークが中心）。

中小企業を元気にしたいとの信念は今も変わらず、今後は地元岡山の中小企業の振興に貢献したいと燃えています。

岡 野 昭 彦 おかの あきひこ

◆◆ しばらくは充電… ◆◆

平成7年4月に診断士登録と同時に当時の診断協会岡山県支部の正会員となりましたが、その後プラザ会員に移行し、今年1月末で43年勤務した岡山県信用保証協会を定年



退職したのを機に、再度の正会員登録となりました。

前職時代は金融を通じて資金繰り支援、経営支援等を中心に活動し、多くの診断士の方々と一緒に仕事をさせていただきました。大変お世話になりました。

現在は、知人の紹介で診断士とは全く関係のない仕事に就いています。身体的・精神的ストレスの少ない自分に合った仕事です。

来年度以降の仕事については、今のところ全く未定ですが、ひょっとすると診断士として活動するかもしれません。そのためにも、今年度は診断士フォーラム等には積極的に参加しようと考えています。皆さん、その時にはまたよろしくお願いします。

長 澤 匡 宏 ながさわ まさひろ

◆◆ 原価低減、生産性向上 ◆◆

兵庫県出身、就職後に岡山に移り、約20年になります。本年1月に診断士会に入会しました。船舶の製造業に入社後、数年間経営企画部に在籍したほかは、設計関連の業務に従事してきました。現在は、プロジェクト案件についての設計部門のマネジメントを行っています。



これまでの経験をベースに、製造業での設計段階における原価の低減や、現場での生産性向上などを得意分野として伸ばしたいと考えています。

さらに、製造業以外の業種や経営全般について診断、助言ができるように知見を高めたいと考えています。これから多くの方々と交流しながら、活動範囲を広げたいと思います。



坂井 俊一郎 さかい しゅんいちろう

◆◆ 分析力、解決・提案力高めたい ◆◆

本年5月1日に入会しました。製造業の企業に勤務している企業内診断士です。

勤務先では、主に工場管理業務に従事しています。現在の得意分野は、以前金融機関等に勤務した経験から財務分析が中心となります。

今後は、数字だけではない総合的な分析力や解決・提案力を高めたいので、各勉強会等にも参加したいと考えています。



奥 本 浩 二 おくもと こうじ

◆◆ IT 分野で活動再開 ◆◆

今年の4月に入会しました。診断士資格は15年ほど前に取得しましたが、しばらく活動休止状態でした。この度、岡山に転勤となり、中小企業（特にガス会社）の経営者の方々とお付き合いする仕事に就いたことをきっかけに活動を再開しようと思っています。

現在はNTTのグループ会社に勤めている企業内診断士です。得意分野はIT全般ということになろうかと思っています。ヒューマンネットワークも広げたいと思っています。



難 波 正 文 なんば まさふみ

◆◆ 「計画」から「結果」まで ◆◆

岡山県出身。山口大学大学院理工学研究科修了。本年、診断士登録しました。

技術系人材サービス会社の営業所長、自動車部品メーカーの経理部門及び経営企画部門を経て、現在は税理士法人リアライズにて会計監査、経営相談、経営改善計画策定等により中小企業支援をしています。

「経営改善」や「経理事務の合理化」「経営の見える化」を得意としており、診断士試験合格を機に岡山県経営コンサルタント事業協同組合（OMBC）にも所属させて頂いたため、今まで以上に経営改善に取り組み、得意分野に幅と深みを持たせたいと思います。

また、改善のPDCAがうまく回らず、計画が形骸化してしまった経験から、今後は目標達成のための「KPIマネジメント」を私の「強み」にまで育てて、計画から結果までを支援する力をつけたいと思っています。これからも中小企業の夢の実現のため、確かな支援に邁進します。



橋 口 和 文 はしぐち かずふみ

◆◆ 金融機関の経験活かす ◆◆

倉敷市出身。岡山市内在住です。都内の大学を卒業後、地元金融機関に就職。地元、都市部の店舗経験等を経て、35歳の時に地元税理士法人に転職しました。

現在は、主に中小企業の金融機関交渉を支援する業務を行っています。昨年度、診断士試験に合格し、この5月に登録しまし



た。中小企業の経営者の方々が、「資金繰りなどに頭を悩ませ、本業に支障が出ないように支援したい」という思いで日々の仕事に取り組んでいます。

まだまだ勉強するべきことは山積していますが、今後も自己研鑽に励み、地元中小企業の支援に注力したいと考えています。

杉村 康裕 すぎむら やすひろ

◆◆ 事業承継を支援 ◆◆

岡山市出身。東京の大学を卒業後、2013年に中国銀行へ就職。約8年間、主に渉外を担当し、財務や資金繰りなど経営の基本を学びました。その後、2021年6月に税理士法人おかやま創研(岡山市)へ転職。昨年末より、事業承継支援業務(主にM&A業務)を中心に担当しており、今までに3つの案件を成約に結びつけることができました。



岡山県においては、後継者不在企業率が60%を超えているとも言われており、今後ますます事業承継支援が必要となってきます。今までの経験や診断士会での人脈を活かしながら、引続き事業承継支援に取り組みたいと考えています。

町 直友貴 まち なおゆき

◆◆東京との2拠点活動◆◆

倉敷市出身です。現在は東京にて12社の中小企業と経営顧問の契約を締結して活動しています。自身の年齢や祖父母の年齢等、総合的に判断して東京と岡山の2拠点生活がしたいとの思いに至りました。岡山県で活動したいとの思いをはせても10年以上離れていたため、情勢等の把握ができていません。現



状の岡山経済圏に対する認識では思うような経済活動ができないと考え、当会を通して岡山経済圏の理解を深めるために入会しました。

得意分野と言われると少し持論を混ぜたくなりますが、金融出身であるため、金融に対して一定以上の知識は有しています。また、事業計画の立案及び実行が得意です。抱負は2拠点生活を実現させるべく岡山県での事業展開を成功させることです。

荻谷 彰 かりや あきら

◆◆ 事業価値向上に努める ◆◆

岡山生まれ、岡山育ちです。大学卒業後、おかやま信用金庫に入庫。営業店、本部で様々な業務に携わり、現在は価値創造部に所属し、営業店の推進面のフォローを行いながら地元中小事業者の事業価値向上を図るため、日々尽力しています。



また、2018年には(公財)岡山県産業振興財団に出向しました。その折には西日本豪雨災害にかかるグループ補助金無利子貸付事業に従事し、自身の見聞を広めることができました。

これから地元岡山の価値向上に貢献できるよう、中小企業診断士としてさらに力を付けたいと思います。



令和4年度新入会員。両脇は松本会長(右)と太田専務理事。(6/25 定時総会にて)



研究会活動

循環ビジネス研究会

プラスチックごみ問題の高まりから、それをテーマに令和元年診断士会の調査事業を、翌年に本部事業を行いました。その後はカーボンニュートラルによる持続可能な社会の実現について研究しています。ただ、それらは未だ試験研究（開発試作）の段階です。それも大企業が行う試験研究が主です。

例えば、乗用車はEVに変わると一般的に思われています。EUは2035年にガソリン車の廃止を発表しています。HondaはEV車に全面的に切り替えることを公表しています。しかし、トヨタ自動車は早い時期に水素エンジン車を開発する旨を発表し、EV車の開発に消極的と批判され、EV車の開発費用も大幅に増やしています。イタリアの高級車メーカーのフェラーリも水素エンジン車の開発を発表しています。水素と炭素を合成したe-フュエル（水素と炭素の合成燃料）の開発が間に合わない背景もあるようです。EV車も開発するが、消費者がどちらを選択するかわからないという問題に対処しているのでしょう。

地元岡山の中小企業では、農業機械などを扱うカーツ（岡山市）は台湾の中山大学と共同で水素エンジンの実用化を目指しています。垂直離陸型のドローンや無人飛行機向けなどにも売り込むそうです。

ジャパンプルー（本社：倉敷市児島）は2021年に、大量廃棄されるバナナの茎部を再利用したくバナナデニム>を商品化しました。バナナ繊維18%、綿82%使用した糸を使用しています。ただ、バナナ繊維入りの糸は海外製と思われます。

当研究会では知識の補充として、新聞報道等を収集し、視察先を探している状態です。研究開発段階では視察は難しく、成果も上げにくい状況です。



地域活性化研究会

地域の経済・産業を活性化させるテーマにして研究活動をしています。本年度のテーマは「岡山力研究」です。「温暖で雨が少なく、気候に恵まれている」「地盤が固い」「交通の要衝」「慎重な県民性」など岡山を評価する声は様々あります。しかし、その一方で県民が高いポテンシャルに気づいていない、活用がされていないという声もよく耳にします。

当会ではあまり世間で知られていない岡山県の強みやトップレベルの項目を探り、それらが経済活動や観光誘致に活用できないかを研究してみようと考えています。意外なものが見つかり面白い結果が出ることを期待しています。

ものづくり企業研究会

製造業をはじめとした“ものづくり企業”をより強力に支援することを目的に研究活動を行っています。今年度は当会の取組が調査研究事業に採択され、現在はこれまでの調査研究結果の整理を行い、報告書の骨子案をまとめています。今回の報告書は、以下の目的を意識して作成します。

- ・会員診断士の診断助言スキルのレベルアップ
- ・中小ものづくり企業経営者に対し経営改善への気づき
- ・岡山県中小企業診断士会のPRツール

今後、仮説に基づいた追加調査や、「気づき」に導く指標の探求など課題は多いですが、会員18名（今回1名が入会）が一丸となり、楽しく・ため

になる研究会活動を継続します。



AI 研究会

当研究会は 2018 年 8 月に発足しました。現在、研究会メンバーは 7 名（太田、岡本、長野、入矢、田中、内田、大友）です。参加者全員がプログラミング経験者、システム開発経験者です。月 1 回、WEB 会議形式と集合形式の両方を使い分けしながら AI や IT についての情報交換を行っています。

今年度は、「中小企業支援に資する AI の開発」を新テーマとして掲げ、製造業の現場のデータを活用した AI プログラムの開発に、全員で取り組んでいます。実際の生産管理システムのデータを活用して、安全在庫量、発注点、発注リードタイムなど、在庫管理の適正化を AI で実現できるか、研究を進めています。これからも引き続きじっくり時間をかけて、AI プログラミングの実践研究を進めつつ、「中小企業における AI 活用の最前線の研究」に取り組む予定です。システム開発経験者、またはデータサイエンティストを目指す方の参加をお待ちしています。

診断士キャリアアップ研究会

診断士会入会后 3 年未満の会員を対象にした交流会中心の研究会です。診断士資格を活用したキャリアアップの研究・自己PR力の向上等をテーマに活動しています。

第 4 回研究会を 1 月 22 日（土）、第 5 回研究会を 5 月 28 日（土）に岡山国際交流センターにて開催しました。第 4 回は、総勢 18 名（会場 15 名・Web 3 名）第 5 回は、総勢 17 名（会場 15 名・Web 2 名）が参加しました。新たに参加したメンバーの自己PRの後、各回 3 名の講師によるミニセミナーを実施。各自の得意分野や専門性をもとにしたプレゼンテーションと自己PR、関連な質疑応答によって、発表者・参加者が共に学び、相互理解の促進が図られたと思います。

第 4 回はオミクロン株特別警戒期間のため懇親

会は行えませんでした。第 5 回時には懇親会を開催し、大いに盛り上がりました。「楽しみながら継続的に参加できる」ことを大切にしながら、今後も 2 ヶ月に一度の研究会活動を行う予定です。入会后 3 年以内の方はぜひ気軽に参加してください。

【参加方法】

右の QR コードから Google フォームにアクセスのうえ、氏名・メールアドレス等を回答してください。



問題解決力向上研究会

過去の診断案件等を題材にして、問題把握・原因究明・提案施策について、“広く、深く”考えることに特化した、コンサルタント必須の問題解決力を鍛える会です。2 カ月に 1、2 回ペースで活動しており、今年度は財務分析を中心として経営状況を読み解き、問題把握、原因究明、施策立案のトレーニングを行っています。今年度の活動として、4 月には金融機関出身の会員を講師として人材派遣業を営む中小企業の財務分析を実施し、6 月にはアパレル業界から業績の異なる上場企業 4 社を取り上げ、それぞれについて財務分析を行いました。様々な情報をもとに、3C、4P などの幅広い観点をもって各社の経営状況を考察し、実務に活かせる分析力の強化を図りました。

今後の展望としては、引き続き財務分析を中心にトレーニングを続け、数値から現場の状況が思い浮かぶほどの分析力を習得したいと思います。

また、資金繰りに焦点をあて、実践に資する問題解決力を鍛えたいと考えています。もちろん、実践の機会を与えて頂ければ積極的に取り組みたいと意気込んでいます。「この会にA社の診断をやってもらおう」といった方はぜひお声かけください。



サステナビリティ経営研究会

サステナビリティ（持続可能な）経営＝「両利きの経営」と捉え、その理解を深めるとともに、具体的な導入プロセスを研究しています。中小企業が無理なくサステナビリティ経営を実現できるように、診断士として助言・提案力を身につけることを目指しています。

昨年4月に立ち上げ、3名で活動しています。今年度は、「両利きの経営」を実践する企業のケーススタディを行い、会員相互で課題や今後の戦略等について議論しています。活動は平日夜・土日中心で、1か月に1度程度の活動（原則オンライン）を行っています。オンラインでのミーティングツールはマイクロソフト社の Teams を活用しています。今後は今年度内に実装予定であるメタバース機能を駆使した勉強会、ワークショップなどの開催も検討しています。また、毎回使い勝手の良い IT ツールを探索しながら会員の IT リテラシー向上にも積極的に推進しています。オブザーブ参加などお試し頂けますので、ご興味有りの方は代表の石井正樹まで連絡をお願いします。

NEW!!

プロコンのためのスキル開発研究会

名前のとおり、プロの経営コンサルタントとそれを目指す者のためのスキル開発を行う会です。本年6月に発足し、現在メンバーは4名（國米、黒田俊、藤原敬、森島（広島会員））です。

経営者として著名な稲盛和夫氏は、人生の成果＝考え方×熱意×能力 と言われます・・・(a)。ある診断士の先達は、経営コンサルタントの成果＝人間力×営業力×商品力 と言われます・・・(b)。(a) 及び (b) より、私たちが目指す成果＝人間力（考え方×熱意）×能力（営業力×商品力）と書けるかと思いました。心理学者のクルト・レヴィンは、行動：B＝（P：内面×E：環境）の相互作用と言い、哲学者、教育学者として知られるジョン・デューイは、経験は、個人と環境の相互作用と言ったようです。

私は、支援先の企業も支援者である私たち個人も、経験（成功体験もあれば失敗体験）が強み・弱みの元であると考えます。既にプロコンを自任している方は、自身のこれまでの経験（強み）に基づき、より強い自らの商品の発見、開発を目指します。これからプロコンを目指す方は先輩が惜しみなくノウハウを提供し支援するプロコン速成（促成）塾と考えていただいても結構です。上記の方程式の「人間力」×「営業力」×「商品力」の創出を目指します。こうした考えに基づいて、2カ月に1回のペースで、各人に合ったプロの経営コンサルタントのためのスキル開発を研究する予定です。当研究会は、既に独立されている方だけでなくこれから、プロコンを目指す方も大いに歓迎します。



発起人の國米泰弘さん

〈今年度の計画〉

8月	初エンターション兼初回会合、年度活動計画決定
	会合 初回会合決定テーマの情報意見交換
10月	会合 会及びメンバーのテーマを設定
12月	会合 メンバー毎に簡易なレポートを作成
2月	会合 今年度の成果の振り返りと検討

BOOK REVIEW

『まわるリモートチームの マネジメント術』 飯田剛弘(著) 明日香出版社,2021.



マスメディアで専門家がアフターコロナ、ウィズコロナと言葉遊びをしている間に、企業経営の現場は大きく変化している。中小企業診断士が活躍するフィールドでのリモートワークの進展はその代表例である。リモートワーク

は「場所」「時間」「雇用形態」などの制約を受けにくく、柔軟な働き方が可能になるというメリットを持っている。一方、従来の働き方とは大きく異なるため戸惑うことが多いのも事実である。この戸惑いを解消するのに役立つのが本書である。

リモートで働くチームのマネジメントについてのノウハウがまとめられている本書を読めば、メンバーをまとめるリーダーシップの涵養につながるだろう。目前の問題解決に迫られている現場のリーダーにとって、本書が示す数々のチェックリストはまさにバイブルだ。

さらにリモートに限らず、現代の組織運営のヒントを見つけることができるというおまけも付いている。同じような価値観の人々が同じ働き方をしていた現場では、阿吽の呼吸で物事を進めることが少なくなかった。しかしリモートワークではこれが通じない。現代の現場も同様である。多種多様な価値観を持つ人々が多種多様な働き方をする中で、阿吽の呼吸は通じない。この点において、本書で紹介されているノウハウは新しい働き方にもその効力を発揮する可能性が高い。最近各方面で喧しい「働き方改革」推進の実務に携わる方にもお勧めの一冊である。(書評 会員 松田 周司)

写真: 明日香出版社 HP より

『メモの魔力 The Magic of Memos』 前田裕二(著) 幻冬舎,2018



本書は、いわゆるノウハウ本ではある。一方で、ライブ配信サービス「SHOWROOM」の運営企業を立ち上げた起業家である著者の告白本、熱量を伴った自伝でもある。

著者は「メモ魔」を公言し、その経歴（外資系金融

機関→IT 企業）での蓄積を発揮して、論理的にメモの効用を力説し、独自の世界観に誘っている。読者の想定が、おそらく大学生から若手社会人と思われるので、診断士の皆様には物足りなさがあるかもしれない。しかし、第三章までに詳細に説明される、具体的な事実を抽象化、言語化することの必要性、重要性には大いに同意する。

著者いわく、事実を整理するだけでは意味がなく、抽象化して他に汎用性を持たせ、転用して形にすることで、意義が生じると。診断士においてはクライアントが抱える事実の抽象度を高め、本質的な問題に転換し、改善案を提案していると言えるだろう。すなわち、抽象化、言語化は欠かすことのできないスキルである。そうしたスキルを磨くには、メモほど適したものはないというのが著者の信念である。

自らの方向性に引っ掛かりを覚えた時に自らを客観視するため、本書を紐解き、手を動かしてメモをとる価値があるだろう。

(書評 会員 宮前 善充)

写真:幻冬舎 HP より



事務局だより

理論政策更新研修会

日時 令和4年8月21日(日) 12:50~17:00
場所 ママカリフォーラム 3F
コンベンションホール(オンライン受講可)
研修テーマ・講師
1.「新しい中小企業施策について」
中国経済産業局産業部中小企業課
課長補佐 中井 靖 様
2.「営業力の可視化を端緒に業務改善と新規顧客
開拓による営業革新」(講義・演習)
中小企業診断士(東京都会員) 渡邊 卓 様

しんきん合同ビジネス交流会

日時 令和4年9月14日(水) 13:00~17:00
場所 コンベックス岡山
県内7信用金庫、(公財)岡山県産業振興財団、(株)
日本政策公庫など合同で「第16回岡山県しんきん
合同ビジネス交流会」が開催されます。当会は会
場に相談ブースを設置します。

士業連携フォーラム

日時 令和4年9月27日(火) 18:00~19:00
場所 ピュアリティまきび
(主催)岡山自由業団体連絡協議会
士業間の垣根を越えて積極的な情報交換等を行い、
親睦の輪を広げることが目的の会です。後日、参
加募集を行います。

士業親睦ゴルフ大会

日時 令和4年10月29日(土)
9:00 スタート予定
場所 岡山カントリークラブ
(主催)岡山自由業団体連絡協議会
参加希望の方は事務局まで連絡をお願いします。

診断士の日

日時 令和4年11月18日(金) 15:00~17:00
場所 ピュアリティまきび
本年度テーマ「診断士の新たな活動領域の創造」
診断士同士や他士業、専門家との連携による企業
の課題解決事例を発表します。
1: OMBC(岡山県経営コンサルタント事業協同組
合の活動及び連携事例等
2: 弁護士会活動及び他士業との連携事例等

会員異動

【正会員】

☆令和4年1月以降入会

長澤匡宏、苅谷 彰、岡野昭彦、町 直友貴、
中村昌幸、奥本浩二、坂井俊一郎、難波正文、
橋口和史、杉村康裕、桑田 仰

【移籍会員】

青木高志(東京都城南支部より)

【賛助会員】

藤原亮介、乗金寛明、高森聖司

岡山県診断士会会報 第21号
令和4年7月15日 発行
一般社団法人岡山県中小企業診断士会
〒700-0907 岡山北区厚生町 3-1-15
岡山商工会議所ビル5F
Tel 086-225-4552
Fax 086-225-4554
発行人 会長 松本直也
編集人 専務理事 太田記生
広報委員 理事 大西 修

